

国際ロータリー第2730地区

高鍋ロータリークラブ 会報



会長 青木 善明
副会長 長谷川 修身
幹事 桑野 倫夫
例会日 毎週木曜日 12:30~13:30
例会場 ホテル泉屋 2F
事務所 宮崎県児湯郡高鍋町大字北高鍋 1368-4
ホテル泉屋内 TEL/FAX 0983-21-1636

第2083回 令和元年9月12日プログラム

- | | |
|---------------|-----------|
| 1. 点 鐘 | 7. BOX披露 |
| 2. ロータリーソング | 8. 委員会報告 |
| 四つのテスト | 9. 次週例会案内 |
| 3. ビジター・ゲスト紹介 | 10. 点 鐘 |
| 4. 会長の時間 | 11. |
| 5. 幹事報告 | 12. |
| 6. 出席報告 | |

高鍋ロータリークラブテーマ

『新時代につなごう誇りと奉仕の友愛』

第2730地区ガバナー 喜島健一郎
中部分区ガバナー補佐 上田 普
RI テーマ 『ロータリーは世界をつなぐ』
地区テーマ 『クラブの活性化に務めよう』
9月の月間テーマ
基本的教育と識字率向上月間・ロータリーの友月間

本日の例会案内

*夜間例会&観月会
点鐘 18:30
場所 ゲシュマック

次週例会案内 9月19日 (2084回)

*外部卓話=高鍋警察署
署長 久米田勇二様
*血圧測定
*例会終了後プログラム委員会開催

第2082回 例会内容 (9/5)

☆会長の時間

会長 青木 善明 君

会の名称と規則

第3回の会合でクラブの名称が検討されました。

議論が沸騰して：(1) The Round Table Club、(2) Booster Club、(3) Conspirators Club、(4) The Chicago Fellowship、(5) The Lake Club、(6) Chicago Circle、(7) Trade and Talk Club、(8) Friends in Business、(9) Blue Boys、など、たくさんの提案がなされたようで、それらは周りの様子や、会の目的を表そうとしているものでしたが、出席者全員の賛同を勝取るものがありませんでした。そのうち、当事の集会(例会)が会員の事務所の持ち回りで行われていたため、Rotation Clubではどうだろうかという意見が出て、ついに Rotary Club という名称で全員の意見一致が見られました。

この提案がハリスによるとする記事や、誰なのか不明であるとするものもありますが、ポール・ハリス自身がこの提案は初代会長シルヴェスター・シールであると書いています。ポール・ハリスの、オリジナルな考えである



一業種一会員制の推薦会員は、既存会員の一人でも反対があれば入会できないこと、そして会員資格は1年間有効で、更新には毎年の入会記念日に全会員の4分の3以上の賛成を得ることが必要とされました。

誕生したてのクラブには支出の必要がなかったため、とりあえず会費徴収を行わないことになりました。代わりに、会員・家族の誕生日、家族のお祝いごと、会社の創立や事業の成功など、会員の身近に良いことがあった時に拠金を投入する「ファインボックス」が設けられました。

これには後に、例会欠席や例会中に宗教・政治の話をした場合の罰金なども加えられました。

我が国では1936年(昭和11年)に大阪クラブで「ニコニコ箱」が採用されて以来、各地のクラブで「スマイルボックス」などとして設置されるようになりました。

☆幹事報告

幹事 桑野 倫夫 君

<文書案内>

*中部グループ 会長幹事会開催案内

日時 2019年10月8日

場所 小戸荘 会費 6,000円

*日本ボーイスカウト宮崎

連盟への助成金のお願い 1口 10,000円

*佐賀・長崎豪雨被害に対する義捐金のお願い

*第7期RLIパートII参加についての再度のお願い



幹事報告
幹事 桑野倫夫君



月初めのセレモニー
親睦活動委員長 野添君

♪♪月初めのセレモニー♪♪

お誕生日おめでとうございます!

岩切君 桑野君 平山君



結婚記念日おめでとうございます! 福岡君



☆会員卓話

雑誌委員長 橋口 清和 君

1. 「ロータリーの友」は、ロータリーの機関紙であり情報誌であります。皆さんも既にご承知ですがロータリーアン3つの義務、その一つは「ロータリーの友」の購読であります。「ロータリーの友」は日本におけるロータリーの機関紙で、国際ロータリー（R I）の認可を受け、ロータリーワールド・マガジン・プレス（THE ROTARIAN とロータリー地域雑誌の総称）の一員として発行されているロータリーの地域雑誌であります。地域雑誌としての「友」は、ロータリーアンがロータリー・ライフを深



めるためにも、またクラブがR Iと直結しているという認識のためにも必要な媒体であると言う事をまずご理解頂きたいと思います。「ロータリーの友」はロータリーについての最大の情報誌でもあります。R Iの最新情報や世界におけるロータリーの状況やロータリー活動について最新情報を提供しています、また編集に際しては日本全国のロータリーアンが情報や思いを共有できるようなより身近でより親しまれる様に編集されております。

2. 「ロータリーの友」誌が電子化されました。今年1月から「ロータリーの友」が電子化されました、この電子化により何時でも、何処でも「ロータリーの友」を見る事出来て身近になりました、「ロータリーの友」にアクセスしてページをめくりお読み頂き、ロータリーを学んで下さい。

3. ロータリー雑誌のいろいろ
ロータリーアンの有効な「ロータリー情報」活用の仕方
世界情報は=====R I公式機関紙

THE ROTARIAN

日本の情報は=====ロータリーの友

地区の情報は=====ガバナー月信

クラブの情報は=====クラブ週報

4. 日本の公式機関紙「ロータリーの友」について

「ロータリーの友」は1953年（昭和28年）1月に初刊されました。創刊当初は3300部、52年後の2005年7月号は11万5千部で通巻631号になりました。そして2013年7月号では9万5500部で有りました、2014年3月号は、通巻735号となりました。

5. ロータリーの友の由来

初刊に際し機関紙の名称がいろいろと議論され最終的には「タリーの友」と命名されました。この名称の由来は当時の女性雑誌主婦の友にあやかって命名されたと言われてますが別説としてビールの友からのヒントとも囁かれ手います。この方が親しみやすいと考えました。

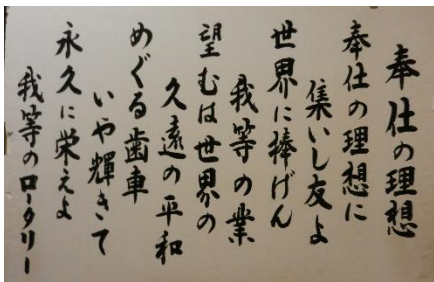
6. 「ロータリーの友」編集方針

公式地域雑誌は「手続き要覧」に有るようにその雑誌を発行している地区のガバナーが任命した委員会が直接監督する事になっています。「ロータリーの友委員会」の委員長は地区ガバナーに対して「友」運営の一切についての責任を負っています。「ロータリーの友」は日本ロータリー34地区のロータリークラブ会員ための公式地域雑誌として、国内の地区、ロータリークラブ及び会員の活動状況を紹介して親睦を図り、また、国内外における各種ロータリー情報を掲載することによりロータリー精神の普及、ロータリー活動の発展に寄与することをその目的としています。投稿原稿は紙面の都合上、総て掲載することはできません。また、制限字数を超えるものは短縮して掲載します。投稿規定は各欄を初め、あるいは末尾に掲載してありますので多くの会員の投稿をお待ちしています。また、他人を誹謗する記事や公序良俗に反する記事は掲載できません。総ての投稿原稿の取り扱い常任委員会、編集部一任となっています。

詳細については、ロータリーの友ホームページの、ロータリーの手引書をご覧ください。
 ロータリーの友電子版はホームページから入ることができますが、閲覧するには、ID・パスワードが必要です。
 ID : rotary パスワード : rotary

☆BOX披露 親睦活動副委員長 三原 元季 君
 <ニコニコ・財団・米山BOX>

- 【桑野倫夫君】誕生日祝いのお礼
- 【橋口清和君】出張で秋月に行ってきました。因縁のくずです。お召し上がりください。
- 【平山英俊君】誕生日祝有難うございました。
- 【福岡直樹君】結婚記念祝いのお礼。有難うございます。
- 【岩切洋君】誕生日祝いのお礼として。いつもありがとうございます。
- 【坂田師通君】橋口清和君の卓話を楽しみにしています



ソングリーダー 川上君



ピアノ演奏 森さん



本日の食事

■出席報告

出席委員 関 康仁 君

出席報告 (9/5)

正会員数	40名
出席会員数	31名
ホーム出席率	81.58%
修正出席率	%



識字率向上月間 (Literacy Month)

識字能力の向上を図る目的で、1997～'98年度 R I の強調事項に指定された。さらに1997年7月の会合で理事会は、毎年、7月を識字率向上月間と定めた。地域の識字水準がその地域の生活水準に直結する、という観点から、この月間中に読み書き、計算の出来ない人たちを援助するために、ロータリー地域社会共同体、ローターアクト・クラブ、インターアクト・クラブ、世界社会奉仕、ロータリー・ボランティア、その他の既存のプログラムを通して、識字率向上に取り組んでいく。2006-07年度より3月に変更された。

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

- 1、真実かどうか
- 2、みんなに公平か
- 3、好意と友情を深めるか
- 4、みんなのためになるかどうか

